

問1 土地が流れる水によってけずられ、流され、海や湖の底に広がって積もり、それが積み重なって厚くなることでできるものは何ですか。

問2 大地が動いたときに起こる、大地のゆれのことを何といいますか。

問3 火山がふん火することによって、よう岩で川がせき止められて湖ができたり、火山灰で田畑がうまったりして、大地のようすが変わることを何といいますか。

問4 砂やどろが混ざった土を水に流しこんだとき、つぶの大きさしずむと沈む速さにはどのような関係がありますか。

問5 流れる水のはたらきによって運ばれたれき、砂、どろが、つぶの大きさによって分かれて水底に積もる現象を何といいますか。

問6 地層をつくっている主なものは、れきや砂のほか何がありますか。

問7 火山が噴火ふんかしたときにふき出し、地面に降り積もって地層をつくるものはどれですか。

問8 火山の噴火ふんかによってふき出されたものが風に運ばれて積もってできた、角ばった石や小さなあながあいた石、結晶けっしょうなどが含まれる地層ふくまを何といいますか。

問9 地震じしんが起きたときに、大地に生じるずれのことを何といいますか。

問10 流れる水のはたらきによって地層ができるとき、けずられたり流されたりしたものは、どこに広がって積もりますか。

問11 れき岩は、砂のほか何に固まってできた岩石ですか。

問12 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

問13 流れる水によって運ばれたれき、砂、どろが水底に積もるとき、つぶの大きさしずと沈む順番にはどのようなきまりがありますか。

問14 大昔の生きもののからだや、生活のあとが地層の中に残ったものを何といいますか。

問15 火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲はんいに降り積もったりする現象を何といいますか。

問16 れき、砂、どろなどが積み重なってできた、しま模様のようなものを何といいますか。

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 地層	土地が流れる水によってけずられ、流されて、海や湖の底に積もり、積み重なって厚くなることで地層ができます。
問2	答え じしん 地震	大地が動いたときに起こるゆれのことを地震 <small>じしん</small> といいます。
問3	答え 火山活動による大地の変化	火山がふん火して、流れ出たよう岩やふきだした火山灰によって大地のようすが変わることを「火山活動による大地の変化」といいます。
問4	答え つぶの大きいものの方が早く沈む。 しずむ	つぶの大きさのちがう土を水に流すと、つぶの大きいものの方が早く沈 <small>しずむ</small> みます。
問5	答え 流れる水によるたい積	流れる水によって運ばれた土砂が水底に積もることを「たい積」といいます。つぶの大きさによって分かれて積もるのが特徴 <small>とくちょう</small> です。
問6	答え どろ	地層は、れき、砂、どろなどが積み重なってできています。
問7	答え 火山灰	火山が噴火 <small>ふんか</small> したときにふき出した火山灰が、地上に降り積もることで地層がつくられます。
問8	答え 火山灰の層	火山の噴火 <small>ふんか</small> によってふき出された火山灰などが風に運ばれて積もってできた地層を、火山灰の層といいます。
問9	答え 断層	地震 <small>じしん</small> が起きたときに、大地に生じるずれのことを断層といいます。
問10	答え 海や湖の底	流れる水によってけずられ、流されたものは、海や湖の底に広がって積もり、積み重なって地層になります。
問11	答え れき	れき岩は、れきが砂といっしょに固まってできた岩石です。
問12	答え 流れる水のはたらき	地層の中のれきや砂の角がとれて丸くなっているのは、流れる水のはたらきによって運ばれ、地層がつくられたことを示しています。
問13	答え つぶが大きいものほど先に沈む。 しずむ	流れる水で運ばれたものは、重くてつぶが大きいもの（れきなど）ほど先に沈 <small>しずむ</small> み、小さくて軽いつぶ（どろなど）はあとに沈 <small>しずむ</small> みます。
問14	答え 化石	大昔の生きものの中から生活のあとが残ったものを化石といいます。
問15	答え 火山のふん火	火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲 <small>はんい</small> に降り積もったりする現象を「火山のふん火」といいます。
問16	答え 地層	れきや砂、どろなどが積み重なってできたものを地層といいます。

問1 でい岩は、どのようなつづが固まってできた岩石ですか。

問2 流れる水によって運ばれたれき、砂、どろが水底に積もるとき、つづの大きさと沈む順番にはどのようなきまりがありますか。

問3 れきが砂といっしょに固まってできた岩石を何といいますか。

問4 地層をつくっているれきや砂に流れる水のはたらきがあったと考えられるとき、そのれきや砂にはどのような特徴が見られますか。

問5 火山の噴火によってふき出されたものが風に運ばれて積もってできた、角ばった石や小さなあながあいた石、結晶などが含まれる地層を何といいますか。

問6 高い山の上で海の生物の化石が見つかることがあります。このように、大昔は水底だった場所が長い年月の間に押し上げられるなどして、土地の様子が変わることを何といいますか。

問7 大昔の生きもののからだや、生活のあとが地層の中に残ったものを何といいますか。

問8 断層は、どのようなことが起きたときに大地に生じるずれですか。

問9 火山灰の層に含まれる石や粒には、どのような特徴がありますか。

問10 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

問11 流れる水のはたらきによって運ばれたれき、砂、どろが、つづの大きさによって分かれて水底に積もる現象を何といいますか。

問12 川から運ばれた砂が、長い年月をかけて押し固められてできた岩石を何といいますか。

問13 火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりする現象を何といいますか。

問14 地震が起きたときに、大地に生じるずれのことを何といいますか。

問15 よう岩とは、どのようなことが起きたときに、火山から何が流れ出たものですか。

問16 火山の噴火によって、地下にあったマグマが地表に流れ出たものを何といいますか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	答え どろなどの細かいつぶ	でい岩は、どろなどの細かいつぶが押し固められてできた岩石です。
問2	答え つぶが大きいものほど先に沈む。	流れる水で運ばれたものは、重くてつぶが大きいもの（れきなど）ほど先に沈み、小さくて軽いつぶ（どろなど）はあとに沈みます。
問3	答え れき岩	れきが砂といっしょに固まってできた岩石をれき岩といいます。
問4	答え 角がとれて丸みを帯びている。	流れる水のはたらきによって運ばれたれきや砂は、角が削られて丸みを帯びるとい特徴があります。
問5	答え 火山灰の層	火山の噴火によってふき出された火山灰などが風に運ばれて積もってできた地層を、火山灰の層といいます。
問6	答え 大地の変化	大昔は海の底などの水底だった場所が、長い年月の間に押し上げられて高い山になるような土地の移り変わりを大地の変化といいます。
問7	答え 化石	大昔の生きものの中から生活のあとが残ったものを化石といいます。
問8	答え 地震が起きたとき	断層は、地震が起きたときに大地に生じるずれのことです。
問9	答え 角ばった石や、小さなあながあいた石、結晶などが含まれている。	火山灰の層には、火山の噴火によってできた角ばった石や、小さなあながあいた石、結晶などが含まれるとい特徴があります。
問10	答え 流れる水のはたらき	地層の中のれきや砂の角がとれて丸くなっているのは、流れる水のはたらきによって運ばれ、地層がつくられたことを示しています。
問11	答え 流れる水によるたい積	流れる水によって運ばれた土砂が水底に積もることを「たい積」といいます。つぶの大きさによって分かれて積もるのが特徴です。
問12	答え 砂岩	砂が固まってできた岩石を砂岩といいます。
問13	答え 火山のふん火	火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりする現象を「火山のふん火」といいます。
問14	答え 断層	地震が起きたときに、大地に生じるずれのことを断層といいます。
問15	答え 噴火によってマグマが流れ出たもの	よう岩は、火山の噴火によって地下のマグマが流れ出たものことです。
問16	答え よう岩	火山の噴火によって、地下のマグマが地表に流れ出たものをよう岩といいます。

問1 断層は、どのようなことが起きたときに大地に生じるのですか。

問2 地層をつくっている主なものは、れきや砂のほかになにがありますか。

問3 よう岩とは、どのようなことが起きたときに、火山から何が流れ出たものですか。

問4 火山が噴火したときにふき出し、地面に降り積もって地層をつくるものはどれですか。

問5 津波は、どのようなことが原因で発生する現象ですか。

問6 火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりする現象を何といいますか。

問7 流れる水のはたらきによって運ばれたれき、砂、どろが、つぶの大きさによって分かれて水底に積もる現象を何といいますか。

問8 現在、陸上で見られる地層の多くは、もともとどのような場所にできたものがおし上げられて現れたものですか。

問9 流れる水のはたらきによって地層ができるとき、けずられたり流されたりしたものは、どこに広がって積もりますか。

問10 地下の土や岩石をほり取って、見えない地下の様子を調べることを何といいますか。

問11 火山のふん火が起きたときに、火山から流れ出たり、広い範囲に降り積もったりするものはどれですか。

問12 火山の噴火によって、地下にあったマグマが地表に流れ出たものを何といいますか。

問13 高い山の上で海の生物の化石が見つかることがあるのはなぜですか。

問14 たい岩は、どのようなつぶが固まってできた岩石ですか。

問15 大昔や、自分が生まれる前に地域でおきた地震について知りたいとき、どのような方法で調べることができますか。

問16 火山がふん火したときに、流れ出たよう岩が川をせき止めることによって新しくできるものは何ですか。

## 答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 地震が起きたとき	断層は、地震が起きたときに大地に生じるずれのことです。
問2	答え どろ	地層は、れき、砂、どろなどが積み重なってできています。
問3	答え 噴火によってマグマが流れ出たもの	よう岩は、火山の噴火によって地下のマグマが流れ出たもののことです。
問4	答え 火山灰	火山が噴火したときにふき出した火山灰が、地上に降り積もることで地層がつくられます。
問5	答え 海底で地震が起こること	津波は、海底で地震が起こることによって、海水が高い波になっておしよせる現象です。
問6	答え 火山のふん火	火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりする現象を「火山のふん火」といいます。
問7	答え 流れる水によるたい積	流れる水によって運ばれた土砂が水底に積もることを「たい積」といいます。つぶの大きさによって分かれて積もるのが特徴です。
問8	答え 海や湖の底	陸上で見られる地層は、もともと海や湖の底にできたものが、長い年月の間におし上げられて陸上に現れたものです。
問9	答え 海や湖の底	流れる水によってけずられ、流されたものは、海や湖の底に広がって積もり、積み重なって地層になります。
問10	答え ボーリング	地下の土や岩石をほり出して、直接見ることができない地下の様子を調べる方法をボーリングといいます。
問11	答え よう岩や火山灰	火山のふん火が起こると、火山からよう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりします。
問12	答え よう岩	火山の噴火によって、地下のマグマが地表に流れ出たものをよう岩といいます。
問13	答え 大昔はその場所が水底であり、長い年月の間におし上げられたから。	高い山の上で海の生物の化石が見られるのは、大昔その場所が水底であり、長い年月の間におし上げられたためです。
問14	答え どろなどの細かいつぶ	でい岩は、どろなどの細かいつぶが押し固められてできた岩石です。
問15	答え 博物館や図書館を利用したり、地域の人に話を聞いたりする。	過去におきた地震は、博物館や図書館にある古い記録を調べたり、地域の人から当時の様子を聞いたりすることで調べることができます。
問16	答え 湖	火山から流れ出たよう岩が川をせき止めることで、水がせき止められて新しく湖ができます。

問1 砂やどろが混ざった土を水に流しこんだとき、つぶの大きさと沈む速さにはどのような関係がありますか。

問2 砂やどろが混ざった土を水に流しこむと、つぶの大きさによって沈む速さがちがうため、どのようなものができますか。

問3 地震が起こるとき、大地ではどのようなことが起きていますか。

問4 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

問5 高い山の上で海の生物の化石が見つかることがあるのはなぜですか。

問6 現在、陸上で見られる地層の多くは、もともとどのような場所にできたものがおし上げられて現れたものですか。

問7 地層をつくっているれきや砂に流れる水のはたらきがあったと考えられるとき、そのれきや砂にはどのような特徴が見られますか。

問8 火山灰のつぶを水できれいに洗ってから観察すると、どのような特徴をもつつぶが多く見られますか。

問9 たい岩は、どのようなつぶが固まってできた岩石ですか。

問10 砂岩は、どのようなものが固まってできた岩石ですか。

問11 火山のふん火が起きたときに、火山から流れ出たり、広い範囲に降り積もったりするのはどれですか。

問12 火山灰の層に含まれる石や粒には、どのような特徴がありますか。

問13 地震が起きたときに発生することがある、火災、建物や道路がこわれること、津波、山くずれなどのことをまとめて何と呼びますか。

問14 地層の中でつくられた化石が、私たちのいる地上で見つかるようになるのはなぜですか。

問15 大昔や、自分が生まれる前に地域でおきた地震について知りたいとき、どのような方法で調べることができますか。

問16 大地が動いたときに起こる、大地のゆれのことを何といいますか。

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	<b>答え</b> つぶの大きいものの方が早く沈む。 つぶの大きいものの方が早く沈む。	つぶの大きさのちがう土を水に流すと、つぶの大きいものの方が早く沈みます。
問2	<b>答え</b> しまもよう	つぶの大きいものが先に沈み、小さいものがその上に積もることで、しまもようができます。
問3	<b>答え</b> 大地が動いている。	地震は大地が動くことによって発生するため、地震が起こるときは大地が動いています。
問4	<b>答え</b> 流れる水のはたらき	地層の中のれきや砂の角がとれて丸くなっているのは、流れる水のはたらきによって運ばれ、地層がつくられたことを示しています。
問5	<b>答え</b> 大昔はその場所が水底であり、長い年月の間に押し上げられたから。	高い山の上で海の生物の化石が見られるのは、大昔その場所が水底であり、長い年月の間に押し上げられたためです。
問6	<b>答え</b> 海や湖の底	陸上で見られる地層は、もともと海や湖の底にできたものが、長い年月の間におし上げられて陸上に現れたものです。
問7	<b>答え</b> 角がとれて丸みを帯びている。	流れる水のはたらきによって運ばれたれきや砂は、角が削られて丸みを帯びるといった特徴があります。
問8	<b>答え</b> 角ばっているつぶや、表面に小さな穴のあるつぶ	火山灰のつぶには、角ばっているものや、表面に小さな穴があいているものが多いという特徴があります。
問9	<b>答え</b> どろなどの細かいつぶ	でい岩は、どろなどの細かいつぶが押し固められてできた岩石です。
問10	<b>答え</b> 砂	砂岩は、砂が押し固まってできた岩石です。
問11	<b>答え</b> よう岩や火山灰	火山のふん火が起こると、火山からよう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりします。
問12	<b>答え</b> 角ばった石や、小さなあながあいた石、結晶などが含まれている。	火山灰の層には、火山の噴火によってできた角ばった石や、小さなあながあいた石、結晶などが含まれるという特徴があります。
問13	<b>答え</b> 地震による災害	地震が起きたときに発生する火災や建物の破壊、津波、山くずれなどは「地震による災害」と呼ばれます。
問14	<b>答え</b> 土地がしだにおし上げられて地上に現れるから。	地層の中に埋もれた化石は、土地がしだにおし上げられて地上に現れることで、私たちの前に姿を現します。
問15	<b>答え</b> 博物館や図書館を利用したり、地域の人に話を聞いたりする。	過去におきた地震は、博物館や図書館にある古い記録を調べたり、地域の人から当時の様子を聞いたりすることで調べることができます。
問16	<b>答え</b> 地震	大地が動いたときに起こるゆれのことを地震といいます。

問1 火山のふん火が起きたときに、火山から流れ出たり、広い範囲<sup>はんい</sup>に降り積もったりするものはどれですか。

問2 地震<sup>じしん</sup>が起きたときに発生することがある、火災、建物や道路がこわれること、津波<sup>つなみ</sup>、山くずれなどのことをまとめて何と呼びますか。

問3 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

問4 大昔や、自分が生まれる前に地域でおきた地震<sup>じしん</sup>について知りたいとき、どのような方法で調べることができますか。

問5 砂やどろが混ざった土を水に流しこんだとき、つぶの大きさ<sup>しずむ</sup>と沈む速さにはどのような関係がありますか。

問6 火山がふん火することによって、よう岩で川がせき止められて湖ができたり、火山灰で田畑がうまったりして、大地のようすが変わることを何といいますか。

問7 砂岩は、どのようなものが固まってできた岩石ですか。

問8 れき、砂、どろなどが積み重なってできた、しま模様のようなものを何といいますか。

問9 火山灰のつぶを水できれいに洗ってから観察すると、どのような特<sup>とくちょう</sup>徴をもつつぶが多く見られますか。

問10 流れる水のはたらきによって地層ができるとき、けずられたり流されたりしたものは、どこに広がって積もりますか。

問11 土地が流れる水によってけずられ、流され、海や湖の底に広がって積もり、それが積み重なって厚くなることでできるものは何ですか。

問12 でい岩は、どのようなつぶが固まってできた岩石ですか。

問13 どろなどの細かいつぶが固まってできた岩石を何といいますか。

問14 火山の噴火<sup>ふんか</sup>によってふき出されたものが風に運ばれて積もってできた、角ばった石や小さなあながあいた石、結<sup>けっしょう</sup>晶<sup>ふくま</sup>などが含まれる地層を何といいますか。

問15 火山がふん火したときに、流れ出たよう岩が川をせき止めることによって新しくできるものは何ですか。

問16 津波<sup>つなみ</sup>は、どのようなことが原因で発生する現象ですか。

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	答え よう岩や火山灰	火山のふん火が起こると、火山からよう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりします。
問2	答え 地震による災害	地震が起きたときに発生する火災や建物の破壊、津波、山くずれなどは「地震による災害」と呼ばれます。
問3	答え 流れる水のはたらき	地層の中のれきや砂の角がとれて丸くなっているのは、流れる水のはたらきによって運ばれ、地層がつくられたことを示しています。
問4	答え 博物館や図書館を利用したり、地域の人に話を聞いたりする。	過去におきた地震は、博物館や図書館にある古い記録を調べたり、地域の人から当時の様子を聞いたりすることで調べることができます。
問5	答え つぶの大きいものの方が早く沈む。	つぶの大きさのちがう土を水に流すと、つぶの大きいものの方が早く沈みます。
問6	答え 火山活動による大地の変化	火山がふん火して、流れ出たよう岩やふきだした火山灰によって大地のようすが変わることを「火山活動による大地の変化」といいます。
問7	答え 砂	砂岩は、砂が押し固まってできた岩石です。
問8	答え 地層	れきや砂、どろなどが積み重なってできたものを地層といいます。
問9	答え 角ばっているつぶや、表面に小さな穴のあるつぶ	火山灰のつぶには、角ばっているものや、表面に小さな穴があいているものが多いという特徴があります。
問10	答え 海や湖の底	流れる水によってけずられ、流されたものは、海や湖の底に広がって積もり、積み重なって地層になります。
問11	答え 地層	土地が流れる水によってけずられ、流されて、海や湖の底に積もり、積み重なって厚くなることで地層ができます。
問12	答え どろなどの細かいつぶ	でい岩は、どろなどの細かいつぶが押し固められてできた岩石です。
問13	答え でい岩	どろなどの細かいつぶが固まってできた岩石をでい岩といいます。
問14	答え 火山灰の層	火山の噴火によってふき出された火山灰などが風に運ばれて積もってできた地層を、火山灰の層といいます。
問15	答え 湖	火山から流れ出たよう岩が川をせき止めることで、水がせき止められて新しく湖ができます。
問16	答え 海底で地震が起こること	津波は、海底で地震が起こることによって、海水が高い波になっておしよせる現象です。